

◆自然観察会（洞爺湖温泉中島散策・四十三山頂上）

2016年（平成28年）5月29日（日）

火山マイスター加賀谷先生の解説付きで観察会を実施しました。参加者総勢24名（加賀谷先生除く）中島散策では、シカによる食害の状況を観察するとともに、エゾハルゼミの多数の抜け殻、咲き乱れるヤマシャクヤク・イワズミザクラなどの説明を受けながら、無事大平原まで散策。午後は四十三山頂上までの遊歩道散策、100年前の噴火口・今でも蒸気が噴き出る噴気孔・ベニバナイチヤクソウ・ギンラン・コケイラン等の花々も楽しみながら、一人

の落後者もなく、皆さんの健脚に感心した観察会でした。



自然観察会は初夏の天候に恵まれ、今年是有珠山周辺地域ジオパーク友の会の加賀谷先生のガイドを受けることができました。洞爺湖畔に集合し中島を背に立たれた先生のご説明を、青空の下に拝聴いたしました。

11万年前に大きな火山活動があつて「洞爺湖カルデラ」ができ、5万年前に湖の中から火山活動がはじまり多様な噴火が次々と起こり「中島」が誕生、この噴火活動は数千年続き火山群を作りあげ、



2万年前からはじまった火山活動による溶岩丘やドーム、江戸時代以降2000年までに9回の噴火が繰り返され現在のかたちの「有珠山」になったといひます。

有珠山の四十三山は、噴火後百年の若い山にいざなってくださり私たちは登りました。登山入口から急勾配の道に自然石の大きな石が等間隔に据えられていたのは、洞爺湖サミットが開催されるときにこの山も整備されたそうです。難関を登り切ると平らな道となり、木の多

い高原を歩いているような心地よい風を受けながら山頂に着くと眼下に洞爺湖が美しくひろがります。先生には木々が繁った今とは違い何もなかった当初の山頂からの洞爺湖中島は筆舌に尽くし難い眺望絶佳の記憶が強いようでした。

（高谷玉江）